

A 160 青年期の食生活に関する研究 (その3)

食事・尿中の塩分定量

東筑紫短大 綱身節子・清水智子 田代桂子

目的 その2で報告した味覚テスト方法論の実証のために、1日分の摂取した食事中的ナトリウム量、及び尿中ナトリウム量の測定をし、あわせて味覚テストの結果との各々の相関を調べ、研究した。

方法 対象：前2報の対象中より、約7%の男子学生については20人、女子学生については23人、合計43人。

a) 食事中的ナトリウム量測定：1日分の食事を食塩濃度計(全研社Model, NA-05EX)により測定した。

b) 尿中ナトリウム量測定：24時間尿を採取し、食塩濃度計(全研社Model, NA-05EX)、及び炎光光度計(日立205D型)により測定した。

c) 味覚テスト：その2で報告の試験紙法による14枚のテストペーパーによりテストした。

結果 食事中的ナトリウム量と尿中ナトリウム量、食事中的ナトリウム量と味覚テスト結果、及び尿中ナトリウム量と味覚テスト結果について、各々相関の有無を検討した。